



日本共産党・前県会議員

2021年11月30日

加藤なを子活動レポート



県政へのかけ橋

発行：日本共産党・加藤なを子事務所

<連絡先> 藤沢市藤沢2-3-2

TEL 0466-25-4776 FAX 25-4761



共産党県議団で、県知事に

切実な願いが詰まった要望書を提出

今年も、県内のさまざまな団体の皆さんと懇談し、要望や意見をお聞きしてきました。その後、共産党県議団でまとめた要望書を県知事に提出し、知事と短時間ですが、懇談もできました。

私は、コロナ対策において神奈川モデルでの陽性者の自宅療養は、本人に自己責任が強いられ、家族も厳しい状況に追い込まれたこと、今後「第6波」に向けて、陽性の方が症

状に応じて入院でき、十分な治療が受けられるように、県として取り組むことを求めました。

知事からは「感染が落ち着いたが、給付などの支援が終わり、心配している。時短が終わったが、客が戻ってきているわけではない。協力金もない中、これから厳しい状況になっていく懸念がある。何らかの取り組みが必要だ。」と話がありました。700を超える要望項目は、どれもぜひ予算に反映してほしい内容です。

——特別支援学校の教室は、213教室も不足——

文部科学省が、9月24日に特別支援学校設置基準を公布しました。教室不足に対して各自治体に「集中取り組み計画」を21年度末までの策定・実施を求めています。全国47都道府県の中で、神奈川は策定されていない14の県の一つになっています。

教室不足は213。県立特別支援学校の老朽化が著しい校舎も多くあります。校舎の改修と新たな新設校の設置を決断すべきです。（※国は施設の改修について、補助率を3分の1から2分の1に引き上げましたが、新設の財政措置なし）今後、国に対して新設の財政措置を行うよう求めます。

なを子の花だより

今週は皇帝ダリア

日大の敷地に毎年咲く皇帝ダリアです。キダチダリアの別名もあり、メキシコ・中米原産です。高さが8m~10mになるものもあるそうです。舌状花は8枚、ピンクと白があります。花言葉は「乙女の真心」。見上げるほどの高さの花なので目立ちますね。茎は竹の節のような形状で頑丈そうですが、意外に風に弱く倒れやすいようです。写真の日は曇りでしたが、澄んだ青い空に映える皇帝ダリアの姿は凛々しく見えます。



経団連のいいなり STOP!

医療・介護制度の改悪

■経団連の医療・介護制度に対する提言

- 医療の受診に定額負担を導入
- 湿布など市販類似薬を保険給付の対象外に
- 75歳以上の医療窓口2割負担の実施
- 75歳以上の医療窓口3割負担の対象拡大
- 介護保険の2割負担の対象拡大（原則一割）
- 介護のケアプラン作成に利用者負担を導入
- 要介護1、2の生活援助を保険給付の対象外に
- 医療・介護負担の判定に保有資産を反映
- 医療・介護施設の再編・統合

赤旗新聞に掲載された経団連の提言に驚きました。なんと医療の受診に定額負担導入、75才以上の医療費窓口3割負担の対象拡大、介護保険の2割負担、さらに医療・介護施設の再編・統合などです

すでに75才以上の医療費窓口2割負担(2倍化)は、コロナ禍でも決められてしまいました。さらにケアプラン作成に利用者負担や負担の判定に保有資産を反映するなどがあり、医療も介護も受けられなくなる切り捨ての提言です。

安心して医療や介護が受けられるようにすることが求められているのに、政府がすすめている

ことはなんとひどいやり方なのではないでしょうか。そもそも、国民の願いには背を向け、経団連のいいなりに改悪を続ける政権が存続していいとは思えません。

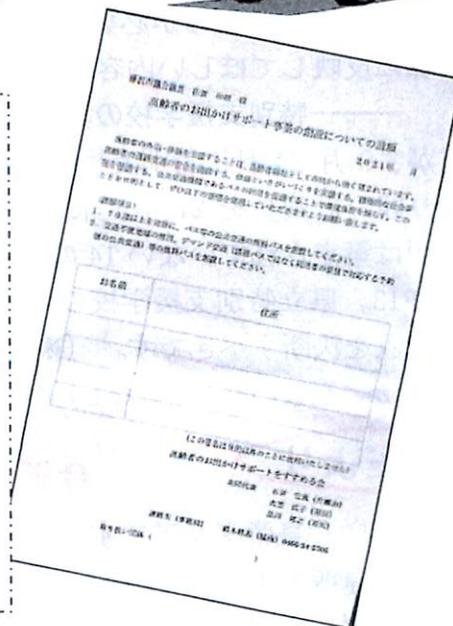
政府も行政も、“持続可能な制度を維持するため”といいますが、国民を苦しめ、健康や命を脅かすやり方の、どこが持続可能な制度なのではないでしょうか!?国民の願う制度を維持するためにあるのが政治です。一緒に反対の声をあげ続けましょう。

これがほしかった!

お出かけサポート 無料パス

高齢者の外出や移動を支援することは、高齢者の福祉として強く望まれています。道路の交通安全を確保して、健康と生きがいをづくりをしたい。積極的な社会参加をしたい。環境への負荷を減らしたい.....。

- 70歳以上の方々を対象に、バス等の公共交通の無料パスを創設してください。
- 交通不便地域の解消をしてください。
- 路線バスではなく、利用者の要請で対応する予約制の公共交通(デマンドバス)等の無料バスを創設してください。



「高齢者のお出かけサポートをすすめる会」が、署名活動をしています。

私も一緒にとりくんでいます。